

一般社団法人全国専門学校情報教育協会（研修委員会）  
平成29年度 研修ニーズアンケート  
教員・職員

●調査時期

平成29年3月30日～平成29年4月24日

●発送数                    75 件(校)

●回答数                    37 件

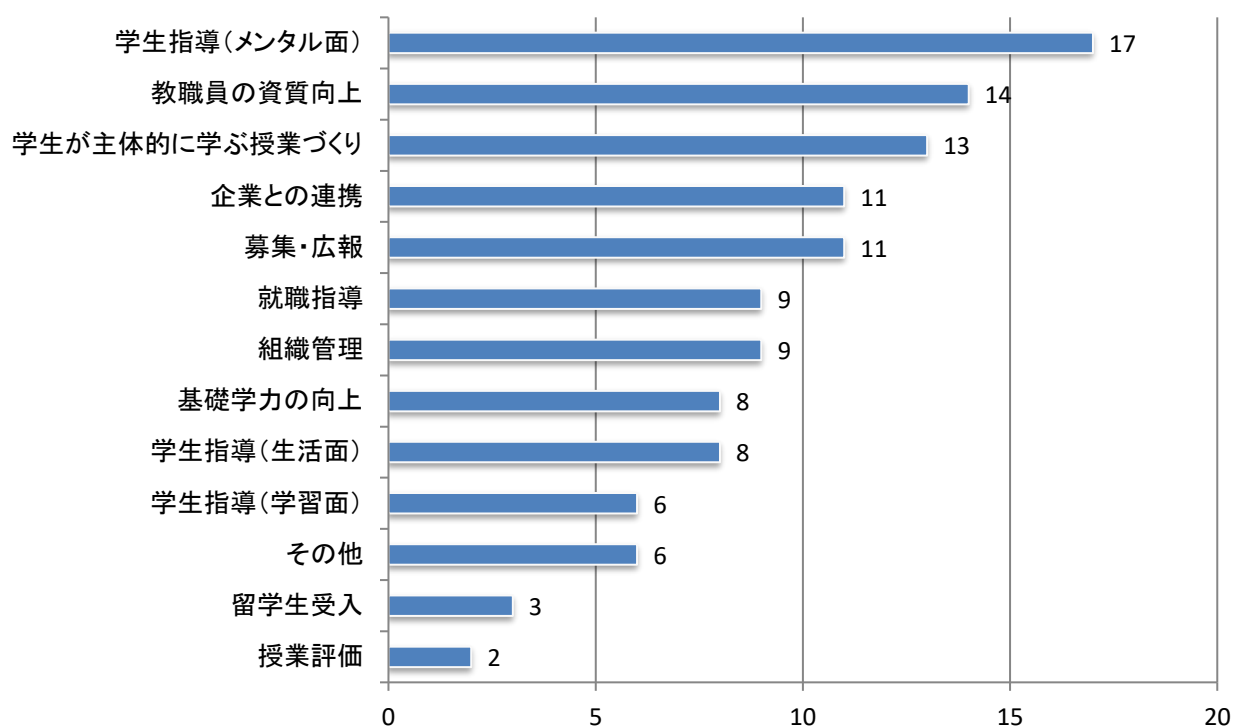
●協力校数                12 校

●回答率                    16.0 %

問1. 担当されている業務の課題として緊急性の高いと感じているものに○を付けてください。

S.no	項目	回答	%
1	学生指導(メンタル面)	17	45.9%
2	教職員の資質向上	14	37.8%
3	学生が主体的に学ぶ授業づくり	13	35.1%
4	企業との連携	11	29.7%
5	募集・広報	11	29.7%
6	就職指導	9	24.3%
7	組織管理	9	24.3%
8	基礎学力の向上	8	21.6%
9	学生指導(生活面)	8	21.6%
10	学生指導(学習面)	6	16.2%
11	その他	6	16.2%
12	留学生受入	3	8.1%
13	授業評価	2	5.4%
	合計	117	-

※%の母数は回答者数(=37)、複数回答、回答の多い順に並べ替え



#### 【その他の回答】

- ・新技術の導入
- ・危機管理
- ・校務運営
- ・最新技術、業界の最新情報
- ・教職員の入れ替わりが激しく、キャリアが浅くなっている
- ・アクティブラーニング系科目の評価方法について

問2. 問題や課題を解決するために、どのような研修・セミナーがあったら良いと思いますか？

S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
■教員の教育力向上：教授法、授業の作り方、技術習得、教材開発など						
1	3DCG、AR、VR、MR	3DCG業界(ゲーム、アニメ映像など)の最新技術や今後の方向性など、実機の体験	実機の体験、またそれらを学ぶためのツールを知る	教員	1日	夏
2	AI、IoT関係など	特に問いません	授業に反映できればありがたいと思います	教員	2日～3日	8月
3	IT最新技術セミナー	ネットワーク、ローカルサーバ構築 初歩的な知識とハンズオンセミナー	授業でサーバー構築ができるレベル	教員	2日	2月
4	VR等の最新技術の教育導入事例	事例発表	新しい教育の手法が見られる、触れられる	教員	1日～2日	夏休み中
5	アクティブラーニングの効果的な導入方法について	アクティブラーニングの詳細なスキルを中心に、実習を交えた形で修得を目指す	模擬授業で実際に公開する	教員	2日	1月
6	アクティブラーニング	実際にアクティブラーニングを導入している学校の事例研究	所属校でアクティブラーニングを取り入れられる	-	-	-
7	アクティブラーニング	講義と授業実践、ロールプレイング	授業内に取り入れ実践できるレベル	教員	1日	2月
8	学修成果	企業から求められる学修成果とは	所属校のカリキュラムに反映できる	-	-	-
9	授業教材開発・デジタル教材セミナー	適切な授業教材開発の教授、事例発表形式。 デジタル授業ツールの使い方や使用例など PC・デジタルタブレットなどの取り入れ方など	事例発表・使用例の理解。初級レベルでの授業教材の採用レベル。	教員全員	半日～1日	夏期
10	新任教員向け教授向上セミナー	・デモンストレーション ・プレゼンテーション ・グループワーク ・事例紹介 ・説明力の向上	・授業レジュメが作成できる ・コマシラバスが作成できる等	主に1～3年 新任教員	2日～3日	-
11	新任教員向け教授力向上セミナー	・デモンストレーション ・プレゼンテーション ・グループワーク ・事例紹介 ・説明力の向上	・授業レジュメが作成できる ・コマシラバスが作成できる等	主に1～3年 新任教員	2日～3日	夏休み中

S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
12	授業研究会	模範となる授業や授業案の報告会。	-	-	-	-
■学生指導：メンタルヘルスケア（カウンセリング）、発達障害に対するケアなど						
13	学生カウンセリング	講義だけではなく、実践の伴うもの	-	教員	1日～2日	-
14	学生カウンセリング 傾聴力向上セミナー	・グループディスカッション ・ロールプレイング 等	・相手の話を聴き真意をとらえ、働きかける事ができる ・面談シートに纏められる	全教職員	1日～2日	夏休み中
15	学生相談、メンタルヘルス研修会	・心の問題と成長支援ワークショップ ・メンタルヘルス向上とカウンセリング	・心の悩みを抱える学生に対し、窓口で初期対応が適切にできる ・自校における組織の在り方や学生支援を意識した支援に取り組むことができる	学生相談に関わる教職員	3日	9月25日～27日 12月11日～13日
16	発達障害について	本校入学者は近年発達障害児が増えている現状がある。専門家を招いて、応対方法等を講演いただきたい	発達障害への基礎対応力が身に付けられる事が目標	講師	1日	9月等
17	発達障害への学習指導のやり方	講義	-	-	-	-
18	不登校への対応マニュアル	講義	-	-	-	-
19	学生指導(メンタル面)	発達障害などの問題を抱えた学生が多くなってきた為、その対応や専門施設等への橋渡しするための情報が知りたい	進路を決定させる事が出来る	教員	1日	12月
20	学生指導(メンタル面)、転職指導のカounselling方法	教授法やディスカッション、グループワークなど	スムーズなカウンセリング方法(時間内に出来る)	教員	1日～2日	夏休み
21	-	メンタル面に関しては、どのようなテーマで、とか、どのような内容の研修があればよいかなど、判断がつきません	-	-	-	-

S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
■留学生に対する指導、就職、メンタルヘルスケアなど						
22	外国人留学生のアクティブラーニング	日本語を学ぶ留学生のためのアクティブラーニングの手法について、成功事例などを聞きたい	-	日本語教師	1日	いつでも良い
23	各国の留学生の事情について	ベトナムをはじめとして、現在アジアからの留学生が増加している。それぞれの国の事情などについて、レクチャーしてほしい。	-	日本語教師及び留学生生活指導担当	1日	いつでも良い
24	留学生の就活サポート	指導ポイント、企業連携、成功事例などの講義 ・他校の事情を知るための事例発表セミナー ・情報交換を目的としたディスカッション形式セミナー	-	現場の教員向け	1日	8月
25	留学生の専門学校進学について	かつて多かった中国人留学生は大学進学希望者が多数だったが、現在はベトナムなど非漢字圏からの留学生が多く、彼らは専門学校進学を希望している。実態がつかみにくい専門学校も多いため、セミナーなどあればいい。	-	日本語教師	1日	8月
■授業評価						
26	科目の分類とそれぞれの評価方法について	講義・演習・実習などの分類法以外の分け方があれば知りたい		教務系教員	1日	8月
■キャリア教育、就職指導など						
27	“就職”について各課、科が連携した取り組みを知りたい	-	-	-	-	-
28	発達障害等をもつ学生の就職指導	本人への指導、保護者への話しの仕方等を講義と実践で行う。	対応方法が習得出来た	教員	1日～2日	8月、2月
29	“課外活動”(授業還元)	専門分野での活動(講演、制作等で得た知識、技術等)	授業での還元。学生のモチベーションレベルアップにつなげる	専門授業対象者	授業に合わせて	時間割、講師の都合による
30	“作品制作(販売)”	各授業で制作した作品を市場で販売する。(点数評価のみでなく)	どれだけ“売れたか”(出席率等も含む)	ほぼ全員	授業に合わせて	時間割、講師の都合による
31	社会人基礎力	仕事に取り組むモチベーション、プラス思考、マイナス思考など、職場での協調性を養いやる気を育てる研修	-	-	2日	-

S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
■企業連携						
32	産学連携	産学連携における問題点と解決方法	所属校のカリキュラムに反映できる	-	-	-
33	産学連携セミナー	中小企業のためのマーケティングセミナー ・基調講演「マーケティング起点型経営の転換を考える」 ・学生と企業の連携事例の紹介 ・交流会(教授、学生、企業の方々)	・消費者の声をどう捉えて商品化すればよいか ・その一つとして学生目線での発想、プレゼンテーションに耳を傾け、商品構想を見通す	学生教授	1日	11月6日
34	企業連携の仕方	講義と演習形式。企業連携の展開の仕方、実践方法など	企業連携を展開する上でのスキル習得	教職員	1日～2日	8月、2月
35	-	企業連携に関する情報を知るための事例発表セミナー	-	-	-	-
■学生募集・広報など						
36	[学生募集研修会] 高校生ニーズ予測と検証※分野別テーマ	今後の5年～20年などの時代の変更やニーズの変更予測と全国的な動き、先進的な募集活動校などの事例を知る情報共有会。分野別に探るテーマなど。	2020年募集活動計画の遂行。業種別・業界動向の把握。中間管理職以上対象。	広報関係	半日～1日	夏期
37	現代に即した募集広報ツール	対象の高校生に魅力ある学校をPRする広報ツールの開発と見せ方の教授について	募集人数の増加	教職員	1日	1月
38	広報募集の成功事例や新しい取り組みや打出し方の講習会、勉強会	広報、PR活動などで新しい面白い取組事例や成功例	-	-	-	-
■学校運営全般：組織、会計、施設、安全管理など						
39	スムーズな運営ができる組織づくり	-	・仕事の分担の仕方 ・チームワークの作り方	-	-	-
40	ネットワークとセキュリティ	教科書でネットワークやセキュリティの勉強をするだけでなく、実際に何台かのパソコンやサーバなどを繋いでネットワークを作り、ルータやファイヤウォールの設定を行い、その後、外部から攻撃を仕掛けて、それをどのように防いでいるかを解析するような、学生が興味を持ちそうな授業。講師は企業人。	ネットワークの構築、ルータやファイヤウォールの実践にできるようになる。	IT基礎を教える教員	2日	7月後半または8月
41	不審者対策	不審者発見→呼び止め→通知→通報までの流れの確認。注意点などのレクチャー	考えなくても動ける	教職員	-	災害対策

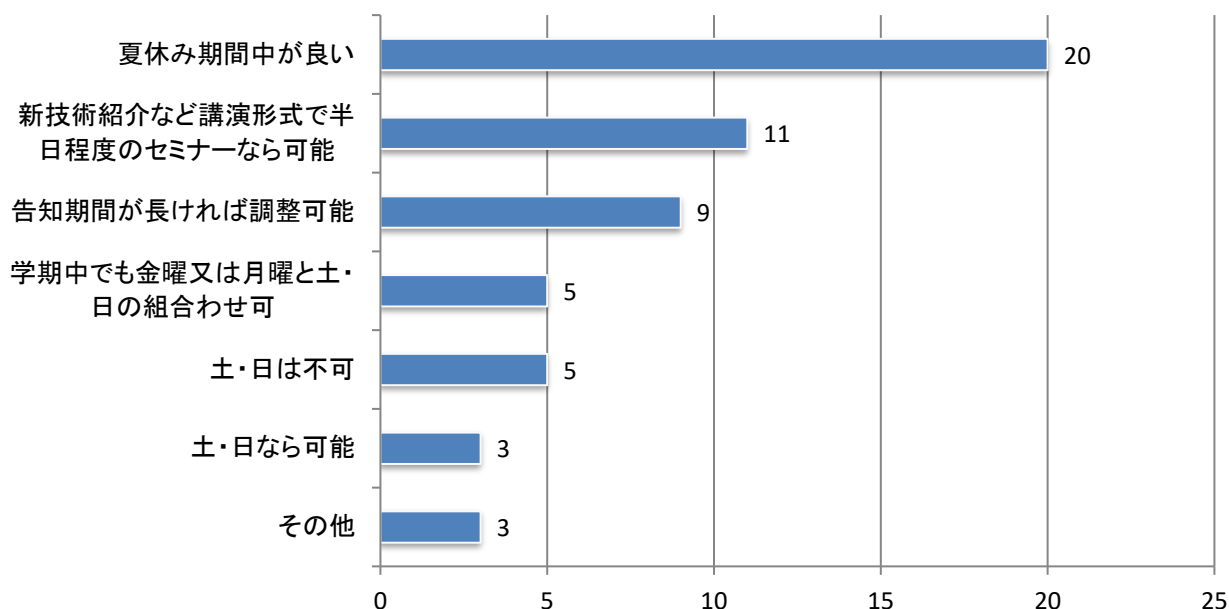
S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
42	予見される災害の説明。それに対する備えの提案	考えなくても動ける	教職員	-	-	-
■業務推進能力向上、効率化など						
43	中堅管理職研修	7～8年程の教員を対象とした中堅管理職研修、学科長レベルのスキルを向上させたい	学科長として必要な考え方や、なすべき事を理解する	7～8年の教員	2日	8月、2月
44	マナーリテラシーの教育	対学生やご家族とのかかわり方について、どこまで接して良いかを判断できるようになりたい	現在での取り組みの理解の確認	自分	1日	年末、年度末以外
45	学校文書管理スキルアップ講座	各文書の適切な取り扱い方法。デジタル化の方法	文書管理の基本を理解し実践できる	教職員	1日～1.5日	-
46	クレーム対応	保護者、学生、教職員、関係者からのクレームに対応するためのノウハウについて	-	-	1日～2日	-
47	校務支援システムについて	最新のトレンドを学ぶ情報収集セミナー	-	学校事務職員	-	-
■その他						
48	消費税に関する事	-	-	-	-	-

問3. パソコン等を用いた演習や、グループディスカッションを伴う研修は、2～3日を要するものが多くなります。実施時期・日数などについて当てはまるもの全てに○を付け、ご意見等をお書き添えください。

■研修次期について：

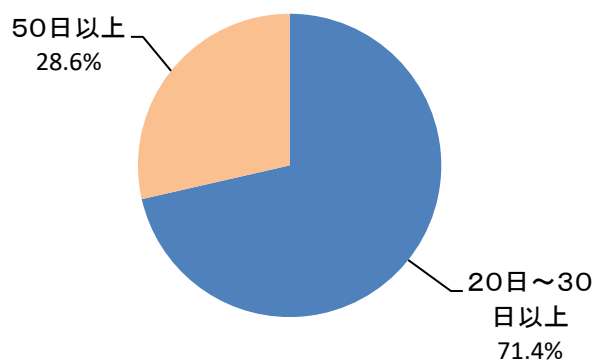
S.No	項目	回答	%
1	夏休み期間中が良い	20	55.6%
2	新技術紹介など講演形式で半日程度のセミナーなら可能	11	30.6%
3	告知期間が長ければ調整可能	9	25.0%
4	学期中でも金曜又は月曜と土・日の組み合わせ可	5	13.9%
5	土・日は不可	5	13.9%
6	土・日なら可能	3	8.3%
7	その他	3	8.3%
合計		56	—

※%の母数は回答者数(=36)、複数回答



◆”告知期間が長ければ調整可能”な場合、最低何日前の告知が必要？

S.No	項目	回答	%
1	20日～30日以上	5	71.4%
2	50日以上	2	28.6%
合計		7	100.0%



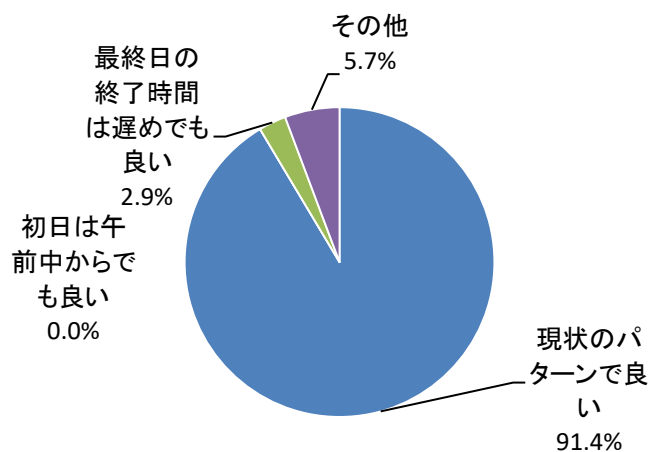
◆その他

- ・12月の冬期休暇期間に開催。
- ・春期休業期間 2月中旬
- ・平日で授業があると難しい。授業がない日も学募等があり難しい。夏休み期間はイベントが多く、タイミングが重要になります。



■日程について:

S.No	項目	回答	%
1	現状のパターンで良い(初日:午後スタート、最終日:15時頃終了)	32	91.4%
2	初日は午前中からでも良い	0	0.0%
3	最終日の終了時間は遅めでも良い	1	2.9%
4	その他	2	5.7%
合計		35	100.0%



◆”最終日の終了時刻は遅めでも良い”場合、東京駅ベースで何時頃くらいまで可？

・17時頃

◆その他

- ・朝、10時くらいから初めて、夜7時くらいで終了。懇親会のない、日が出るプランがあっても良いのではないのでしょうか。
- ・午前中移動、午後スタートの日帰りが良い。宿泊費がでないため、日数があるものは難しい。

問4. 視察してみたい場所(国内外)、内容の概略、適当と思われる期間(日数)を教えてください。

S.No	視察地	視察内容	何月頃	期間
1	シリコンバレー	IT先進企業の見学	8月ごろ	10日くらいで
2	国内の専門学校や大学	企業連携による取り組みをしている実際の内容	12月ごろ	1日くらいで
3	ベトナム、バングラデシュ	現地の日本語教育機関	2月、8月	4～5日
4	アメリカ、サンホゼ	WWDC2017・・・アップルの新技術の情報収集	6月頃	7日位
5	有田窯業大学校	授業内容や学生募集方法を視察	9月頃	2日位
6	京阪神方面	京阪神方面で活躍されている専門学校の学生募集動向と現状の視察	7月頃	1日位で
7	大垣市 情報科学芸術大学院大学	地域活性化にメディアを活かしたワークショップの見学意見交換	10月頃	2日位で
8	アメリカ	美術デザイン系学校のカリキュラム構成が勉強したい	7月頃	5日位で
9	最先端の機材がある企業	大学や研究機関よりビジネスとしての業界で使用されている状況が知りたい	-	-
10	高知大学	地域振興における大学の・土佐フードビジネスクリエーター人材事業、・CDC高知大学インサイドコミュニティシステム化事業、・高知大学地域協働学部の設置	8月	2日位
11	金沢工業大学、東洋大学	設備(大型投資で学年も囲い込んでいる)	-	-
12	-	木工・金工等の工房	8月頃	1日位
13	アニメーション関連のイベント・活動場所	アニメーション・キャラクターなどの関連のイベント活動実施他(協会役員の為)	その時のタイミングによる	-

問5. 職業実践専門課程導入にあたり、抱えている問題・課題等がございましたらお書きください。

- ・今後の見通しとメリットについて
- ・学校第三者評価受審についての学内体制について
- ・企業との連携のマッチングとタイミングとタイミングが両方にとってメリットが見られまたかわる学生のスケジュールなど、大きな企業となると調整が難しい
- ・各種書類作成が、通常業務と重なり煩雑になる。又、協力していただく企業の開拓等が難しい。
- ・教育に協力していただく企業側のメリットが漠然としており、交渉が難しい
- ・求人票や企業説明会の案内をどのようにしたら効率よく学生・生徒に伝えられるか
- ・職業実践専門課程(他校)設置校が、どのような企業連携をしているのかがわからない(知りたい)。
- ・(仮)専門職大学の実態がわからない
- ・無し
- ・学生の基礎学力の低下
- ・地方だと3DCGにかかわる、アニメやゲームを指導する教員が少ない。
- ・今まで通りにいかず、様々な事を明確化していくためには、学校に関わる多くの方に理解を求める作業がある。その調整などが現在の業務に加え行うというところが大変
- ・未だ本校に赴任して一か月も経っていないので、問題等を肌で感じる事はありません。
- ・教員研修の機会(費用が少ない)・・・無理だと思うが!?

問6. 現在困っていることや、抱えている問題・課題等がございましたらお書きください。

- ・日本人学生の自動車離れ、業界の課題でもあます。
- ・発達障害などの問題を抱えた学生が多くなってきたため、その対応について困っている。
- ・専門士を取得しても、日本で就職できない学生に就職指導をしなければいけない。
- ・現場の業務のコントロールがないまま、新しい業務が追加されていくこと。それにより、学生対応の時間がとりづらいこと。
- ・カリキュラムに現場の意見が反映されにくいこと。
- ・就職状況がよくなり、大学数も飽和していることから、学生数確保が最優先で、アドミッションポリシーに合った学生を確保できないこと。それにより、学生指導(学力・素行・精神面)がより難易度が増していること。
- ・基礎学力が低い学生が多く、すべての教科の理解不足につながっている。
- ・コミュニケーション力が低い学生の就職指導
- ・質の保障といわれるが、何をどうすれば保障といえるのか
- ・地方であるため、留学生の進学希望先(専門学校等)の実態を確認するのが難しく、不安。
- ・他の日本語教育機関と情報交換できる機会がほしい。
- ・経営者と教職員労働組合の対立、何年にもわたる未解決問題の山積。
- ・教職員の高齢化に対し、経営者側が採用するのは、1年契約の契約社員のみで、離職率が高く、若手の次世代を担う教職員がほとんどいない。また、60歳で定年を迎えた教職員が引き続き、嘱託で講師を務めているケースが多い。
- ・実習教材の陳腐化・・・学生が少ないので古い実習教材での実習を余儀なくなれる。
- ・学生指導をはじめ教育活動に傾倒する以前の事務業務の繁雑さの軽減。
- ・陶芸学生の確保
- ・心の問題を抱えた学生にたいし、日常、教職員が心がけるべき具体的な事項や保護者への対応。
- ・障害を抱えている学生に対し、どのように授業を行い進めるべきか

- ・18歳人口の減少と今後の対応について
- ・自校の独自性の強い学生募集の確立
- ・家庭環境や心の問題を抱えた学生に対して、日頃接する教職員が心がけるべき具体的な事項について  
また学習力にバラツキに対しての対応方法など。
- ・書類対応に追われて、業務が滞っている。(職業実践専門課程導入と関りはないですが)
- ・常勤・非常勤共に、入れ替わりが多く定着しない。新任教員のクラス運営、学生指導が不安定になりがち
- ・図書室の有効的な活用方法
- ・教職員の入れ替わりがはげしく、業務が軌道に乗らない
- ・無し
- ・特記事項なし